

浜松湖西豊橋道路 都市計画原案に関する補完説明会

1. 日 時 令和 8 年 2 月 14 日（土） 14 時 00 分～15 時 30 分

2. 会 場 利木集会場

3. 出席者 湖西市 都市整備部 都市政策課

4. 内 容

1) あいさつ

2) 都市計画原案に関する説明

i 湖西市のまちづくり

ii 都市計画の手続き

iii 浜松湖西豊橋道路の概要

iv 浜松湖西豊橋道路の都市計画について

3) 質疑応答

<要旨>

質問等	回答
工事により大池等の水資源が減少しないように対策してほしい。	水資源への影響については、現在調査中で、夏頃に開催予定の説明会で示される予定です。万全な渇水対策を訴えるためには、公聴会等での意見陳述が重要と考えます。
事業には賛成。早期着工・早期完成を期待。湖西市北部の産業の発展のため、ICは神座ではなく大知波の多米峠付近に変更してほしい。	市全体を俯瞰する中で、国道 301 号は現在、産業交通も生活交通も入り乱れて走っているような状況です。産業がたくさん集まっている工場の近くに IC を設置することで、一般道路を産業車両が走る距離も短くなるため、県道太田中原線へ IC を設置する計画となっています。 また、都市計画マスタープランの中で、新設 IC から国道 1 号・23 号の豊橋東 IC を結ぶ構想道路を示しており、新たな南北軸を形成する観点からも、太田中原線の位置が適切と考えます。 北部地区の発展については、少子高齢化や人口減少等の課題もありますが、湖西市全体の活性化の中で考えていかなければならず、市長も「地域と市で一緒に考えていこう」と表明をしています。

ルート全体を、もっと山側へ変更してほしい。	自然環境の保全上の観点や、地形、周辺の施設の配置との位置関係、道路建設後の維持管理性、さらに工事にかかる費用など、国が総合的に、緻密に検討した結果、今のルートになっていると理解しているため、変更は難しいと考えます。
農業用の地下水脈が断たれる、沢がなくなる等の恐れがあるため、ルートの変更を要望する。	水源への影響は、大きな懸念事項だと考えます。事業者に确实な対策を求め、それを今後の調査や設計に反映させるためにも、手続きの中でしっかりと声を上げていくことが重要です。公聴会に向けての意見を取りまとめる中で、議題としていただきたいと思います。
有料道路なのか、無料道路なのか。	まだ決まっていますが、国は有料化も視野に入れて検討を進めています。有料となった場合は、事業スピードが上がると伺っています。
工事用道路はどのようになるのか、利木区内は避けてほしい。	事業化後に、調査や測量設計を行う中で検討となります。事前に地域の要望等を事業者へ伝えていくことが重要と考えます。
住宅や畑に近すぎる。農作物の水枯れの影響や、工事の騒音や交通量が増えるのが心配。もっと山側にしてほしい。	水源への影響や懸念についてはしっかりと声を上げていくことが重要です。工事中や道路ができてからの騒音については、必要な保全対策を、環境影響評価の中で現在検討しています。夏頃開催予定の説明会の中で、地域の皆さまのご意見を伺う場があるため、そこでの説明を聞き、ご意見を挙げていただきたいと思います。
国道 301 号の朝夕の渋滞が大変。城内大臣や片山大臣に陳情して早期実現するよう交渉してほしい。	有料か無料かによって工事のスピードが大きく変わります。例えば、国道 23 号は延長 60km ほどで、工事着手から完成まで 50 年かかったと聞いています。早期完成に向け、市から国へ、要望の機会を通じて声を上げていますが、自治会連合会など地域の後押しがあれば、さらに強く要望していく

	ことができるので、協力をお願いします。 国道 301 号の渋滞緩和については、道路を管理している静岡県と一緒に対応を考えていきます。
利木区間について、トンネルとトンネルの間は谷地形だが、どのような構造となるか。	トンネルとトンネルの間については、盛土構造による法面となります。図で示されている 1 段が約 5m なので、谷側は 20m ほどの高さとなると思われます。
トンネル内の事故や火災時の対応は。	市ではお答えできかねるため、国へ確認します。
短いトンネルは地下式と表記されないのか。	350m 未満のトンネルは前後区間と色の塗り分けはされていません。
湖西 IC までの間で利木以外に表記されていない短いトンネルはあるのか。	現計画にはありません。
既存の道路は通れなくなってしまうのか。	道路の下をくぐる等して、通行を確保すると聞いています。
市の中では完成までどの程度の期間を見込んでいるのか。	お答えできかねます。なるべく早期に開通してほしいと考えます。
この道路は産業道路だから、二川地区のようなトンネルでは発展性がない。神座の IC は大規模工場に近いが、奥は山道である。多米道路と国道 301 号が交差する辺りの田園地内に IC を設置し、市街化区域に編入して宅地化が進めば、人口も増え学校の統廃合もなくなる。ルートはいまのままで良いから IC の位置を変えてほしい。	ご意見として承ります。
降雨時に土砂等が流れ出ているので、側溝等の排水対策をお願いしたい。	大池の水の問題にもつながると考えます。自治会としても意見を出していただきたいと考えます。
工事の時に図面とずれてくる可能性はあるのか。	今回お示ししている図面は参考図です。現地の測量や地質調査、詳細な設計の中で変わる可能性があります。
過去に 6m 道路と聞いていたが、途中で 12m になったことがあった。	本道路については、片側 2 車線の 4 車線道路ということで決められています。暫定 2 車線での建設はあるかもしれませんが、計画は 4 車線で決定していきます。

区の草捨て場は買収となるのか。借地となるのか。	基本的には買い取りとなります。
買収後に余剰地を買い戻させられることはないか。	ないと考えます。
測量等はいつ頃から取りかかるのか。	（都市計画の）手続きが全て完了するまでにまだ2～3年はかかると思われます。それから事業化され、その後となります。延長が20数kmあり、どこから手を付けるのかにもよるため一概には言えませんが、事業化の際に改めて工事の説明会が開かれ、示されるものと考えます。
土地の買収が上手くいかなかった場合に計画が変更されることはあるのか。ルート上には建物もあり、なんでそんなところを通すのか分からない。山の方を通すのであれば土地の買収も問題ないのでは。	同様の意見をいただいています。大規模な工事の場合、環境影響評価も実施され、人間の生活はもちろんのこと、自然環境をいかに守っていくかという観点も重要となるため、山の中の貴重な生物、植物なども調査していきます。 住居がかからないルートを設定できれば良いですが、高規格道路となるとある程度まっすぐ通す必要もあり、そうした条件のバランスを考慮して今のルートに決まっていると考えます。
地権者や住民の気持ちを何も考えていない方には辞めてもらいたい。担当から降りてもらいたい。	ご意見として承ります。
北部地区は人口が減少しているのに、なぜわざわざ家が建っているところを通して、もっと人を減らそうとするのか。それを受け入れている湖西市も残念に感じる。 市は「人口減少についてはこれから考えていきたい」とのことだが、今の時点でそんなことを言っているようではジリ貧ではないか。何も進んでいない。 ルートありきで公開されており、熟考された結果だと言うが、どう考えてこのルートとなったのか、予算的には山側を通すと	この道路は、全体の設計を国土交通省、都市計画の手続きを、浜松市区間は浜松市、湖西市区間は静岡県、豊橋市区間は愛知県で行っています。 湖西市だけで完結するような道路であれば状況は違うかもしれませんが、（浜松湖西豊橋道路が通過する）2県3市で足並みを揃えて手続きを進めています。納得できない方もいるかもしれませんが、市としてはこういった意見交換の場を設けて説明を重ねていくことが重要と考えています。

どのくらいかかるかといった経緯が示されていない。	
市はただの御用聞きなのか。市としてしっかり意見を言ってほしい。国が決めたことだからもうどうにもできないと言っているように聞こえる。市では何ができるのか。	この道路計画に対して、市ができることは限られていますが、人口減少への対応など、市ができることはまだまだあると考えます。 市長からも北部地区の発展に向けて、話し合いの場を設ける旨を表明しており、オール湖西市役所で取り組んでいきたいと考えます。
いつぐらいから話し合いの場を設ける予定なのか。市の姿勢がそうだと大知波や青平や神座の住民は耳を傾けない。代替案や歩み寄りがないのであれば、二川のように反対するしかないのでは。	地域の方たちも様々な考えを持っています。来週も意見を聞かせていただく場を予定しています。 代替案等についても話をしていきたいと考えますが、まずはルートがなぜここを通るのかという話をさせていただいている段階です。人口減少・少子高齢化は大きな課題であり、簡単に解決することは難しいです。 例えば「日常的な買い物ができるようなお店がほしい」など、住民が何を求めているのか、何が活性化に繋がっていくかということを地域と話し合いながら見つけていきたいと考えています。今日挙げた意見は市長や県・国にも伝えさせていただきます。
このルートになった経緯を住民は知らない。本当にこのルートが最適であるのかが分からない。北部の説明会は全て参加したが、参加者は皆そう思っていると感じた。説明会に参加できない人もおり、ルートの決定経緯を文章化することはできないのか。	ご意見として承ります。 国にも伝えさせていただきますが、都市計画手続きの中で、ルート検討の経緯等について、開示を求めるのも一つの方法と考えます。
いつまでに意見を言えば国に要望として伝わるのか。	公聴会の意見書については、2月27日から3月10日までの間で提出が可能です。自治会でも意見を取りまとめると聞いていますが、個人でも提出することができます。

	今年の夏頃には環境影響評価準備書の説明会も予定されており、そこでも意見書を提出することが可能です。日程については広報や自治会を通じて周知します。
市長が北部の市政報告会で市としてルート変更を求めない旨の発言をしたが、ルートに対する意見を出したとして、市は国に伝えてくれるのか。	ルートに関する意見を提出できないわけではありません。また、市からそういった意見を提出しないように求めることもあります。
今回の質疑応答について、市のウェブサイトで閲覧できるようにしてほしい。他の会場での質疑応答も閲覧できるようにしてほしい。	検討します。
水資源について、池は大池一つだけではなく、他にも伊田の池、新田の池、カン寺の池がある。これが干上がってしまうのは大変なこと。水脈を試験するボーリング等も例えば他の箇所が 100m に 1 箇所実施するのであれば、利木は 50m に 1 箇所実施する等の工夫をしてほしい。	ご意見として承ります。
令和 6 年 6 月に改定された湖西市都市計画マスタープランに浜松湖西豊橋道路のルート（帯）が記されている。優良田園住宅制度をつくった時点でルートが分かっているのであれば、ルート内は優良田園住宅制度の範囲から外す、もしくはルートに含まれている旨を記載するべきではないのか。	ご意見として承ります。
不備はあるかもしれないが、市の担当職員の努力を認めてほしい。これから「まちづくり」について話し合っていく中で、自治会と一緒に協賛会をつくる等の検討をしている。今後も市役所内での他部局との連携もお願いしたい。小学校の統廃合の話や浜松湖西豊橋道路の話がある中で、北部をどう発展させていくか全庁的に広げていってほしい。	ご意見として承ります。
水脈のボーリング試験について、伊田の	ご意見として承ります。

池の北くらいに水脈があるという話を聞く。過去にボーリングした際は伊田の池の南側を調査して水脈はなかったとされている。調査の場所については、そういった過去の事例を知っている地元の人間に話を聞いたほうが良い。	
---	--